

平成 28 年度 事業報告書



社会福祉法人五常会
特別養護老人ホーム ニツ森
ニツ森ショートステイ
ニツ森デイサービスセンター
ニツ森居宅介護支援センター

二ツ森の目標、職員の行動に関する重要な柱

東濃地区一番の接客態度【挨拶、言葉づかい、態度、表情】の良い施設、笑顔で明るく元気よく！平成21年度から二ツ森中期的目標として掲げ、各種研修会にも積極的に参加、「優しさ」「気づき」をキーワードとし、五常会職務指針の浸透に取り組んでおります。

平成28年度 二ツ森拠点の事業概況

平成24・25年度の二期連続の赤字決算以降、収支改善を最大の経営課題として取り組んでおり、26・27年度は黒字化となりました。しかしながら平成28年度は、極めて不本意ではありますが赤字に転落いたしました。人員の適正化、支出の統制等の絞り込みに取り組んでおりましたが、収入においては特に在宅の稼働率が伸びず、特養も稼働率は97%を超過したものの収入は前年を下回りました。結果、前年比減収減益となりました。

ただし処遇改善加算分は増加しており、実質の総収入は更に減少している。主な要因は、次のとおりであります。

1.収入の増加(単位:千円)

サ区分	収入	前年	差異	前年比	稼働率	前年	前年比
特養	225,066	226,786	1,720	99.24%	97.07%	99.06%	100.0%
S S	32,119	33,152	1,033	96.88%	66.62%	69.85%	95.4%
D S	29,408	29,599	191	99.35%	83.46%	87.09%	95.8%
居宅	4,809	4,791	18	100.37%	383件	412件	93.0%
合計	291,401	294,327	2,926	99.01%			

2.人件費の増加

人件費計前年比+4,322千円、人件費率68.8%(昨年度66.5%、一昨年65.5%)。

増額の要因は、定昇による年間増加分が約1,500千円、処遇改善2ヶ月分が約500千円法定福利費が1,446千円増、退職共済掛け金が224千円増。人員については、課題であった常勤看護師を10月に1名採用、介護職員についても2名採用した。しかしながら採用活動は困難を極めており、次の退職者が出ると即座に現場は窮地となる。事業の安定化を図るには、とにかく人材の確保である。

3.事業費、事務費の減少

事業費前年比+777千円、事務費前年比1,558千円。

事業費では、給食費大幅増(+2,138千円)、水道光熱費大幅減(1,124千円)。

事務費では、修繕費大幅増(+1,853千円)、業務委託費大幅減(3,762千円)。

事業・事務費計 79,846千円 前年80,626千円 差異+780千円

4.差額	当期	27年度	26年度	25年度
資金収支差額	2,850千円	2,185千円	2,824千円	3,961千円
事業活動差額	2,084千円	4,080千円	2,654千円	3,717千円

平成28年12月、瀬戸の里への一時金6,000千円の支出分は差額に含めておりません。

今後も、二ツ森の行動の柱である「接遇 1施設」を目指します。感染対策、職員の適正配置と職員定着のための環境管理、支出の絞り込みに取り組むことは当然ではあるが、**最重要課題は赤字解消**である。利用率の向上、介護保険給付対象外費用の取得等の増収対策に尽くす。管理者、担当者の役割を明確にし、事業責任を果たして参ります。

以上